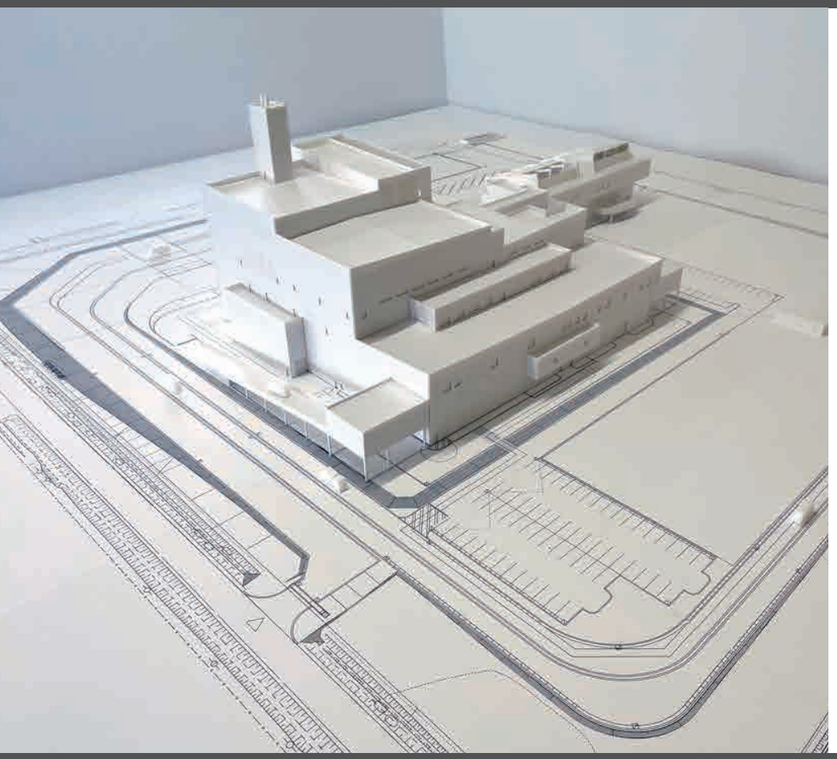
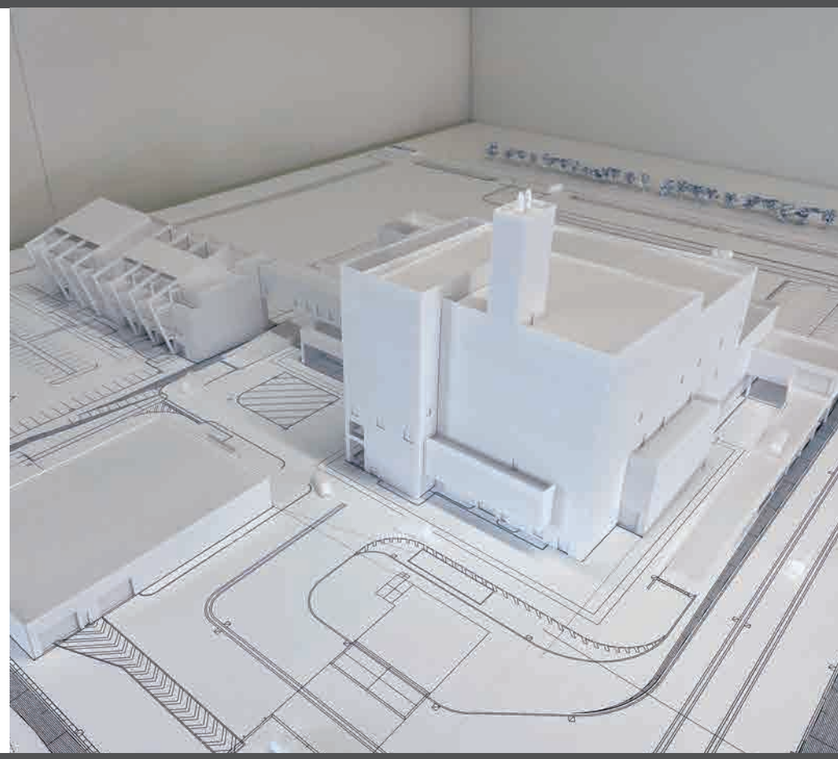
十勝圏複合事務組合　中間処理施設建設工事

工事概要説明書

令和７年５月28日
第38回　新中間処理施設整備検討会議　資料２－１





竣工イメージ図

こちらはイメージです。実際とは異なる場合がございます。

1 基本方針

5つの基本方針

1. 火災、災害に強く、安心・安定な施設
- ●独自の火災検知と予防、迅速な初期消火による延焼防止
- ●想定最大浸水水位5．7m（GH+49．7m）に対応した防水設備

2.混雑対策と工夫の動線配置によるやさしい施設
- ●一般持込車線の完全2車線化と持込専用ヤード設置により混雑を解消
- ●場内自動案内システム、キャッシュレス決済によるスムーズな入退場

3.エネルギー有効利用と資源循環で持続可能社会に貢献する施設
- ●最高レベルの高効率エネルギー回収システム
- ●一般持込受入時の選別員による分別、高純度・高回収率を実現するシステム

4.地域の皆様に信頼され、愛される施設
- ●あらゆる世代に配慮した見学者設備、サーマルリサイクルと食育を結び付けた環境学習
- ●周囲の環境に配慮しつつ、雄大な自然と調和するデザイン

5.経済性に優れた施設
- ●オール十勝の土建JVと代表企業とで作り上げる地域経済貢献への最大化
- ●手厚い財務支援と細密なリスク管理による安定した事業運営

2 施設概要

事業概要

事業名称	中間処理施設建設工事	発注者	十勝圏複合事務組合
施設規模	焼却処理施設　292t/日（146t/24h×2炉） 大型・不燃ごみ処理施設　61t/日	施工監理者	パシフィックコンサルタンツ株式会社
処理対象物	焼却処理施設：可燃ごみ、破砕可燃物、資源残渣、肉骨粉等 大型・不燃ごみ処理施設：大型ごみ、不燃ごみ、有害ごみ等	工事請負者	JFE・宮坂・ネクサス・村上・北土・加藤　特定建設工事共同企業体 代表企業｜JFEエンジニアリング株式会社 構成会社｜宮坂建設工業株式会社 株式会社ネクサス 村上土建開発工業株式会社 株式会社北土開発 加藤建設株式会社
建設場所	北海道帯広市西21条北4丁目5番1ほか		
建設期間	令和5年11月30日～令和10年3月31日		
運営期間	令和10年4月1日～令和30年3月31日		

建築概要

構　造	鉄筋コンクリート造、 一部鉄骨鉄筋コンクリート造、 一部鉄骨造
階　数	地上6階、地下1階
建物高さ	約45m
煙突高さ	約59m
敷地面積	約62,000㎡
建築面積	約12,800㎡
延床面積	約24,600㎡

プラント設備概要

受入・供給設備	ピット＆クレーン方式 大型・可燃ごみ粗破砕機
燃焼設備	ストーカ式
燃焼ガス冷却設備	廃熱ボイラ方式
排ガス処理設備	消石灰・活性炭吹込み ろ過式集じん器
余熱利用設備	蒸気タービン発電
灰出し設備	ピット＆クレーン方式

3 位置図

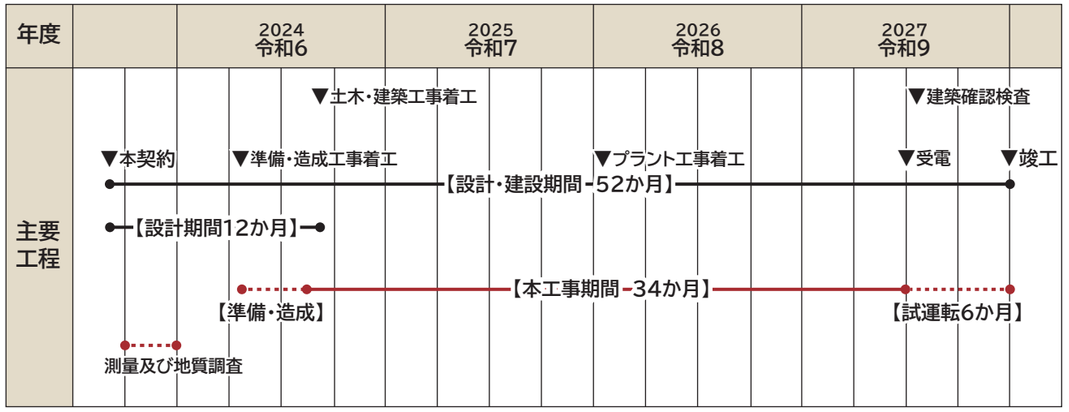
4 パース

5 公害防止基準

項目（大気質）	単位	法規制値	自主基準値
ばいじん濃度	g/m^{3}N	0.04	0.02
硫黄酸化物濃度	ppm	2700～2900 (K値=17.5以下)	100
窒素酸化物濃度	ppm	250	150
塩化水素濃度	ppm	430	100
ダイオキシン類排出濃度	ng-TEQ/m^{3}N	0.1	0.1
水銀濃度	μg/m^{3}N	30	30

※上記は全て乾き排ガスベース、$O_2$12%換算値とします。

6 工事工程



7 工事中の環境保全対策

◆住民の皆様への配慮

- 騒音・振動対策・・・低騒音型、低振動型ハイブリット型掘削機械の使用につとめる
- 周辺の渋滞対策・・・コンクリート工事車両をGPS管理し、工事用出入り口付近での工事車両による渋滞を防止

◆周辺環境への配慮

- 隣接耕作地への濁水流出対策・・・素堀り側溝及び土堰堤をもうけることで場外への濁水流出防止
- 粉じん飛散対策・・・環境対応型粉塵防止剤散布やミストの噴霧の実施
- 隣接耕作地への光害対策・・・隣接耕作地側の工事用照明を光害対策とし農作物への光照射抑制するとともに、交錯地境界から仮囲いを後退させ昼光を確保
- 霊園利用者への配慮・・・工事用出入口と霊園入り口側に十分な距離を確保し、霊園利用者への安全に配慮

8 主な工事車両通行ルート

38号線からの経路を記載

施設概要

本資料の内容は協議中のものであり、今後、変更となる場合がございます。

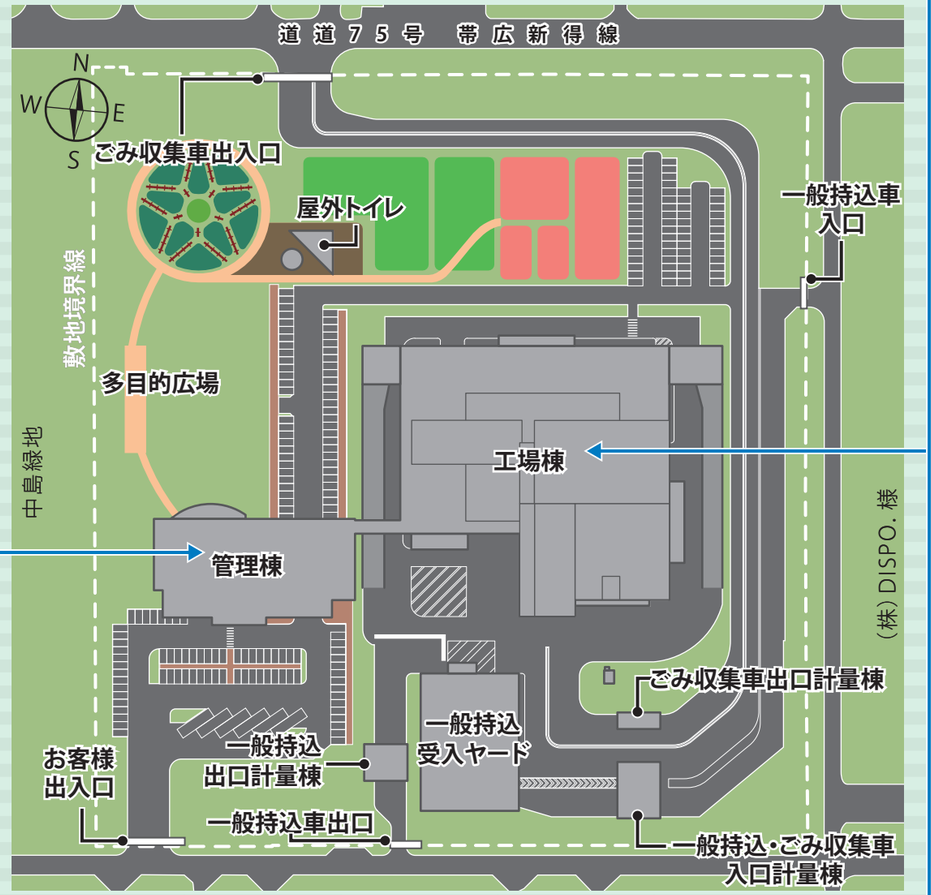
管理棟（多目的広場、屋外トイレ）

管 理 棟
：団体・個人の施設見学やごみ処理に係る学びの場として利用できる施設です。

多目的広場
：ステージイベントや屋外で多様に楽しんで頂けるスペースを提供します。

延べ面積 ： 約4,800m² (多目的広場、屋外トイレを含む)
高さ ： 約23m
階数 ： 地上3階
構造 ： 鉄骨鉄筋コンクリート造、一部 鉄骨造

【全体配置図】



所在地 ： 北海道帯広市西21条北4丁目5番1ほか
敷地面積 ： 約62,600m²
建築面積 ： 約12,800m²
延べ面積 ： 約24,600m²

工場棟（一般持込受入ヤード、計量棟）

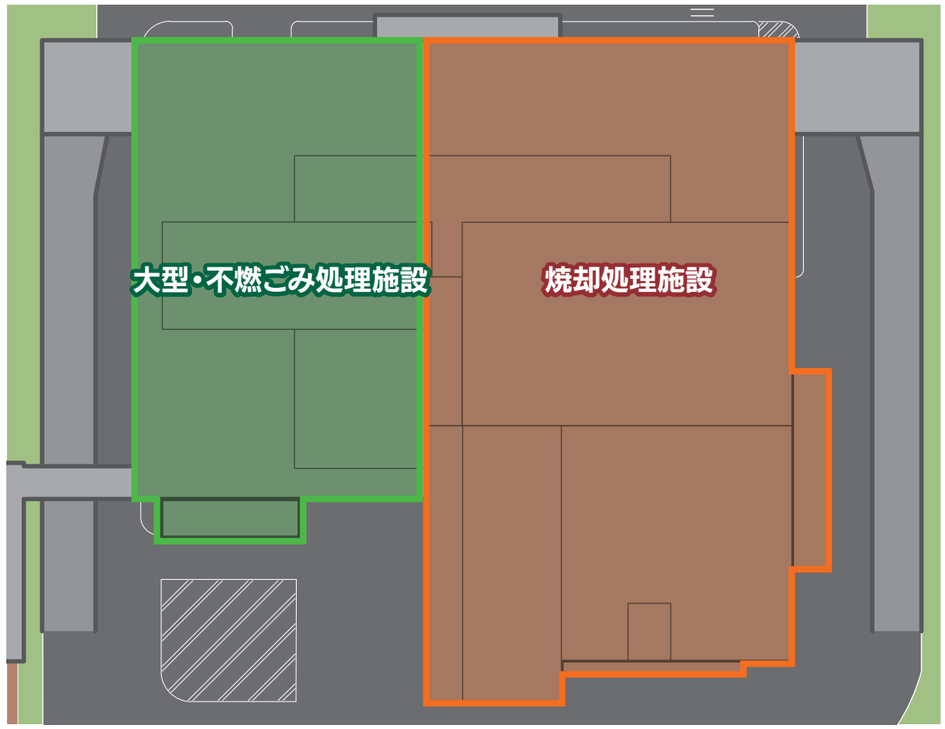
工 場 棟
： ごみ収集車など事業者によるごみの 受け入れ施設です。

一般持込受入ヤード
： 住民の自己搬入によるごみの受け入れ施設です。

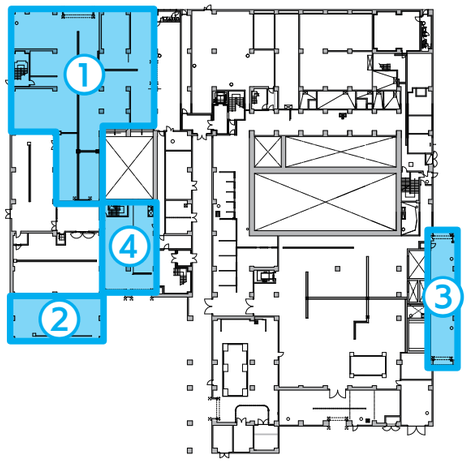
計 量 棟
： 事業者用と住民（自己搬入）用は各々の計量機で計量します。

延べ面積 ： 約19,800m²(一般持込受入ヤード、計量棟を含む)
高さ ： 約45m
階数 ： 地上6階、地下1階
構造 ： 鉄筋コンクリート造、一部 鉄骨鉄筋コンクリート造、一部 鉄骨造

工場棟

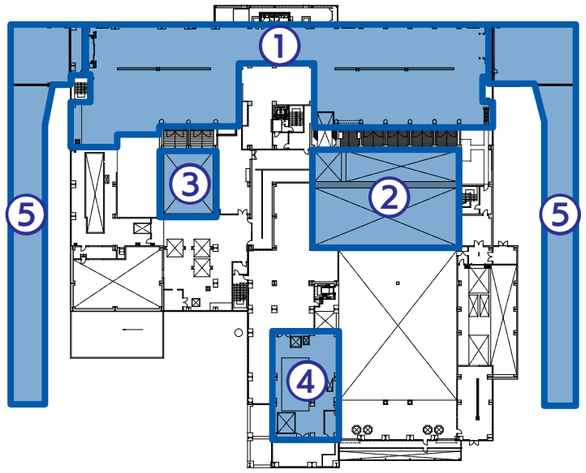


1階



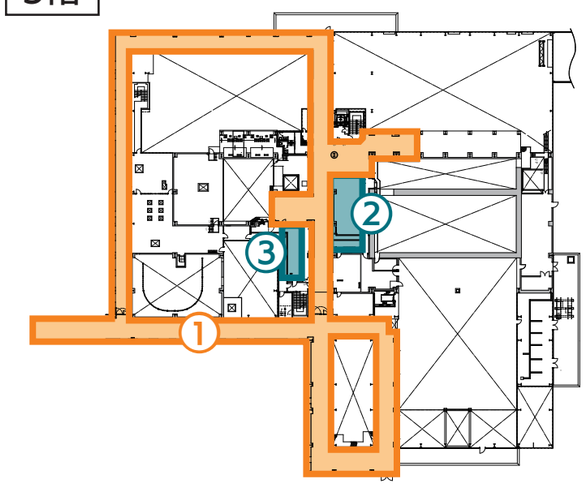
①ストックヤード
（アルミニウム製品、紙類、スプリング入りマットレス、乾電池、蛍光管・水銀製品など）
②ストックヤードヤード（鉄屑）
③灰搬出室
④搬出設備室（破砕鉄、破砕アルミ）

2階



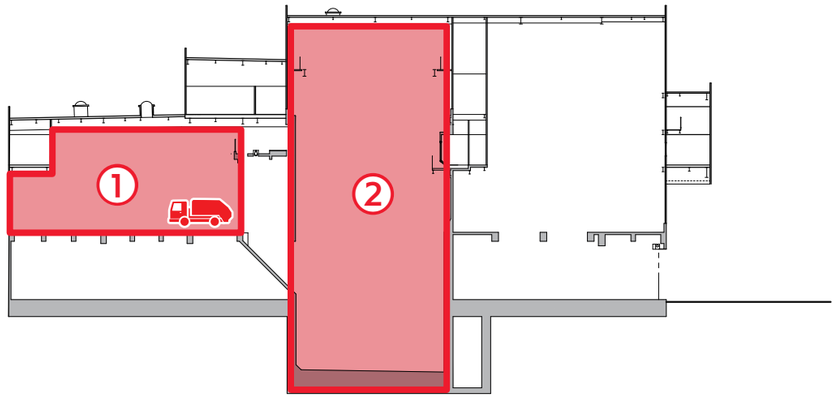
①プラットホーム
②可燃ごみピット（地下より貫通）
③不燃ごみピット
④蒸気タービン発電機室
⑤ランプウェイ

3階



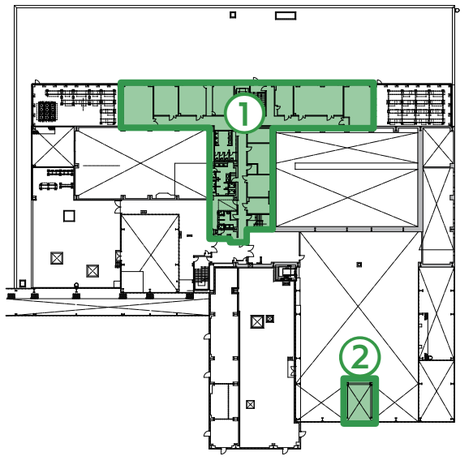
①見学者通路
②中央制御室（焼却）
③中央制御室（大型・不燃）

断面例



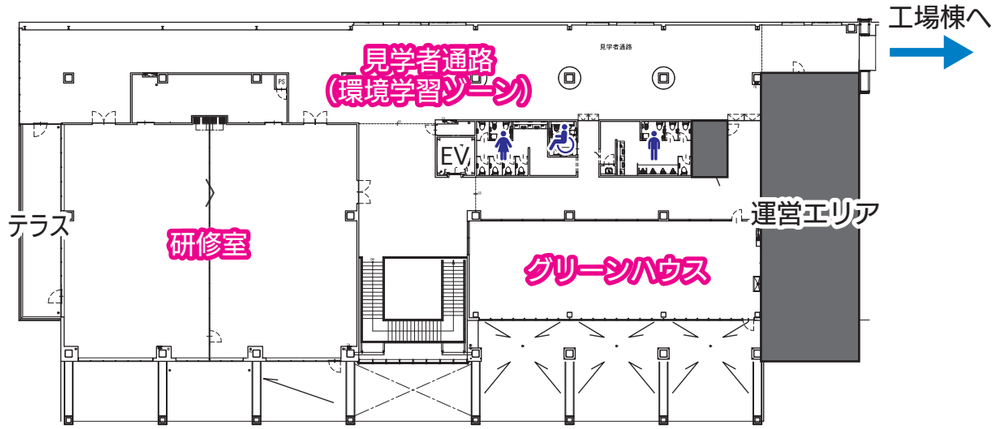
①プラットホーム
②ピット　10,100m³以上

4階



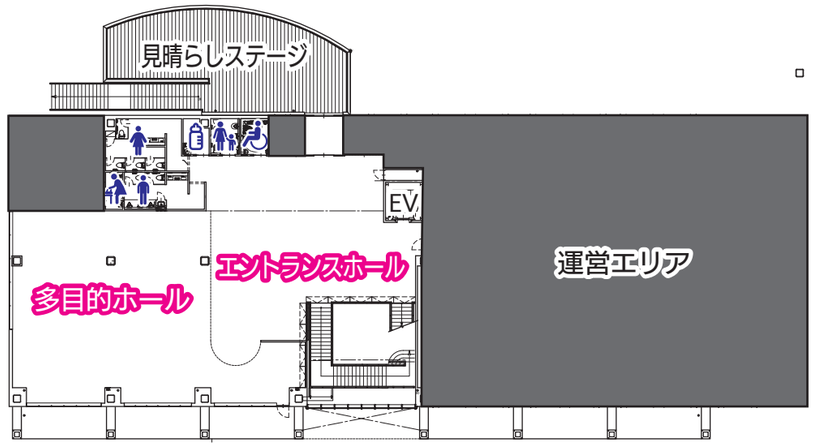
①運転員居室エリア
②煙突

管理棟の概要

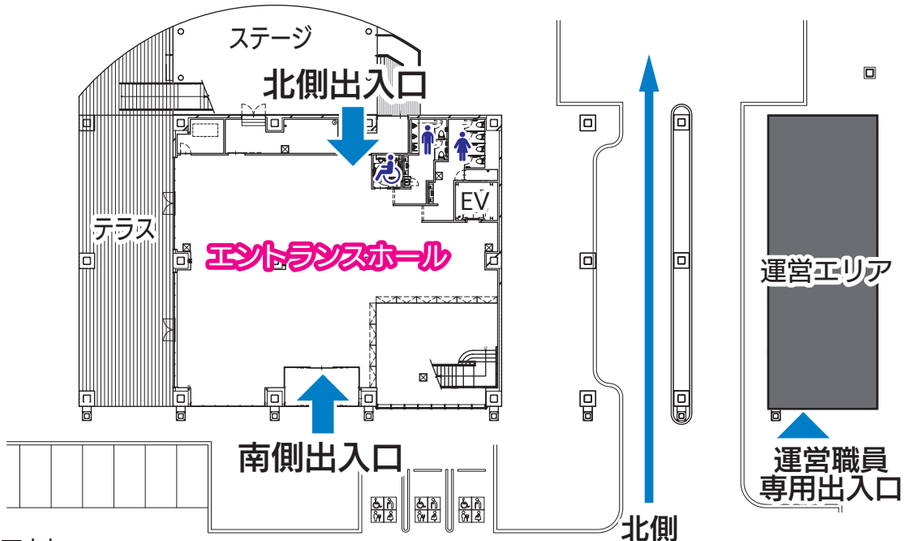


管理棟 3F

研 修 室　：団体の見学に対し、ごみ処理などの環境学習をしていただきます。
見 学 者 通 路　：通路内には、環境学習を目的とした掲示物などをご用意しています。
グリーンハウス　：ごみ処理の余熱を利用した温室です。室内の立ち入りは出来ませんが、ガラス越しに見学できる仕様となっています。
多目的ホール　：小さなお子様にも環境に対する興味を持っていただけるよう、屋内遊び場と併用したスペースを設けています。
見晴らしステージ：北側多目的広場や西側の日高山脈が一望できるスペースとなります。

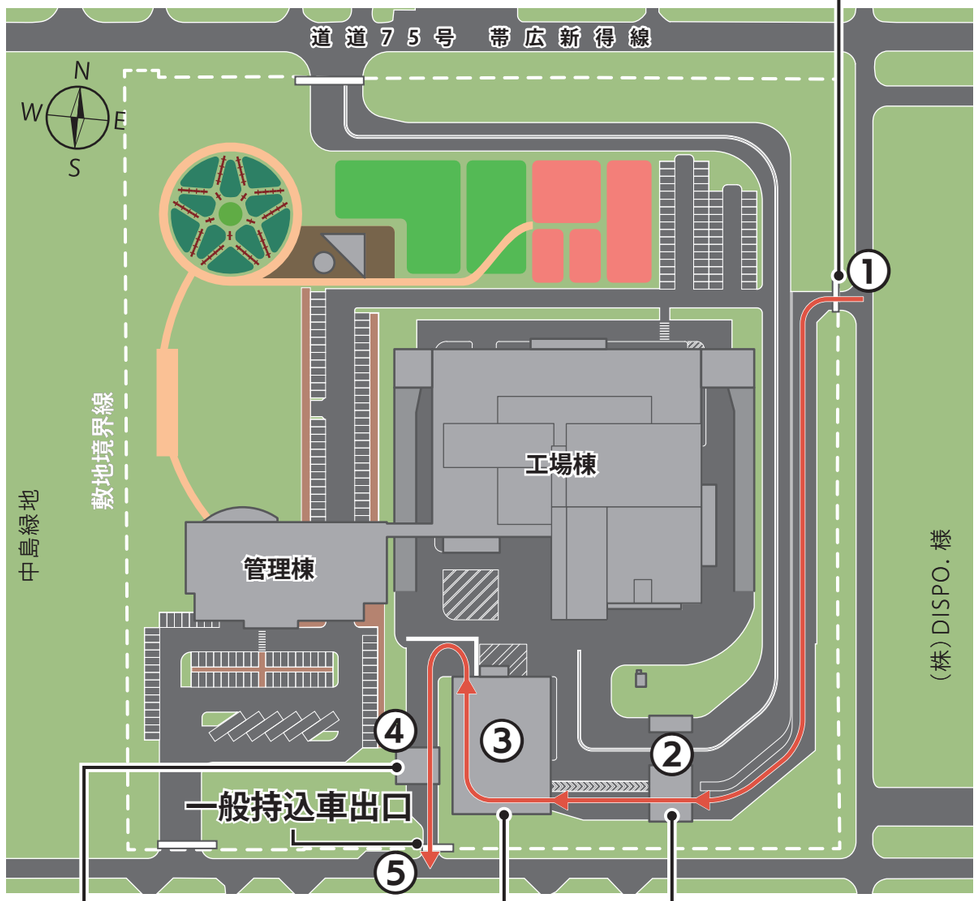


管理棟 2F



管理棟 1F

1）一般持込車両の動線



【①一般持込者入口】

一般持込車両は、東側の市道から入場してください。

北側の出入り口は、計画車両等専用となりますので一般持込車両は通行禁止です。

【②入口計量棟】

こちらで進入手続きを行います。

混雑緩和のため、一般持込用の計量機を２基配置しています。

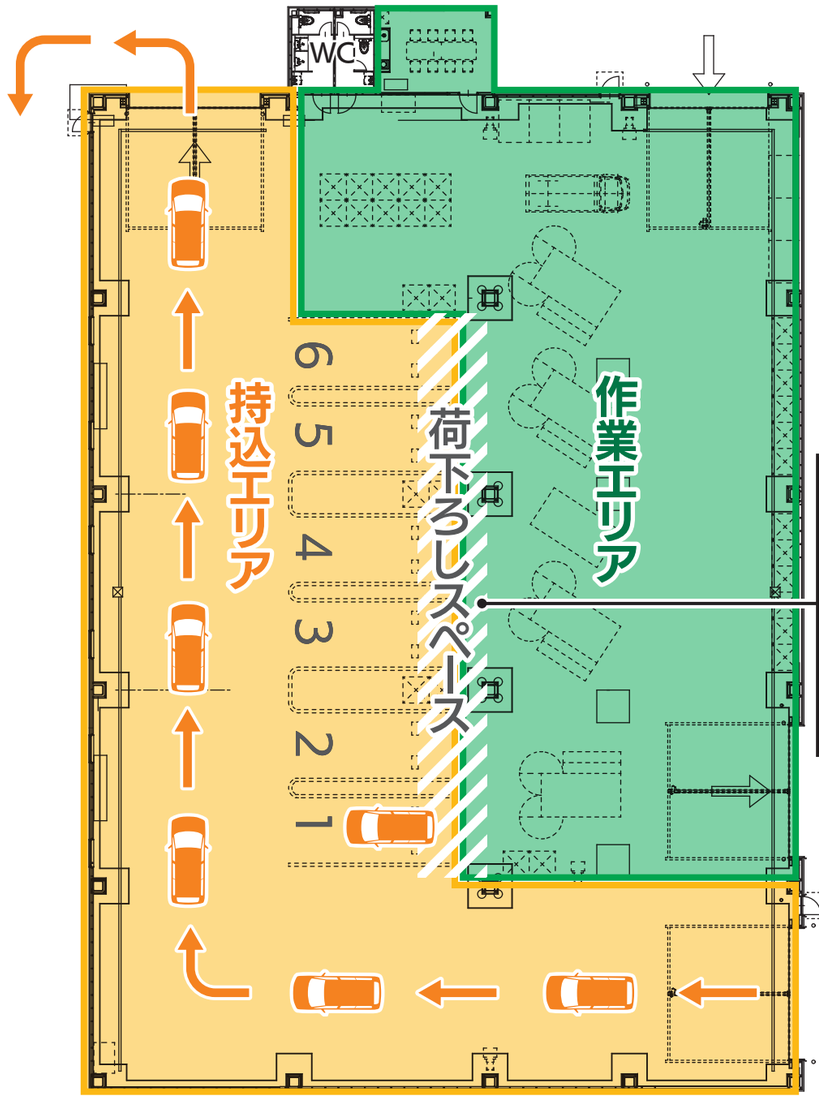
【③一般持込受入ヤード】

入口計量棟で停車場所の音声案内をしますので指定枠へ駐車し、荷下ろしスペースに荷下ろししてください。

【④出口計量棟】

こちらで清算手続きを行います。
入口計量機同様、２基配置しています。
清算終了後、⑤出口よりお帰りください。

ごみを降ろし終えたら誘導員の案内にしたがって退出してください。



一般持込受入ヤードの内部

ごみの仕分けは作業員が行いますので、指定された番号に停車したら車両後方の荷下ろしスペースにごみを全て降ろしてください。

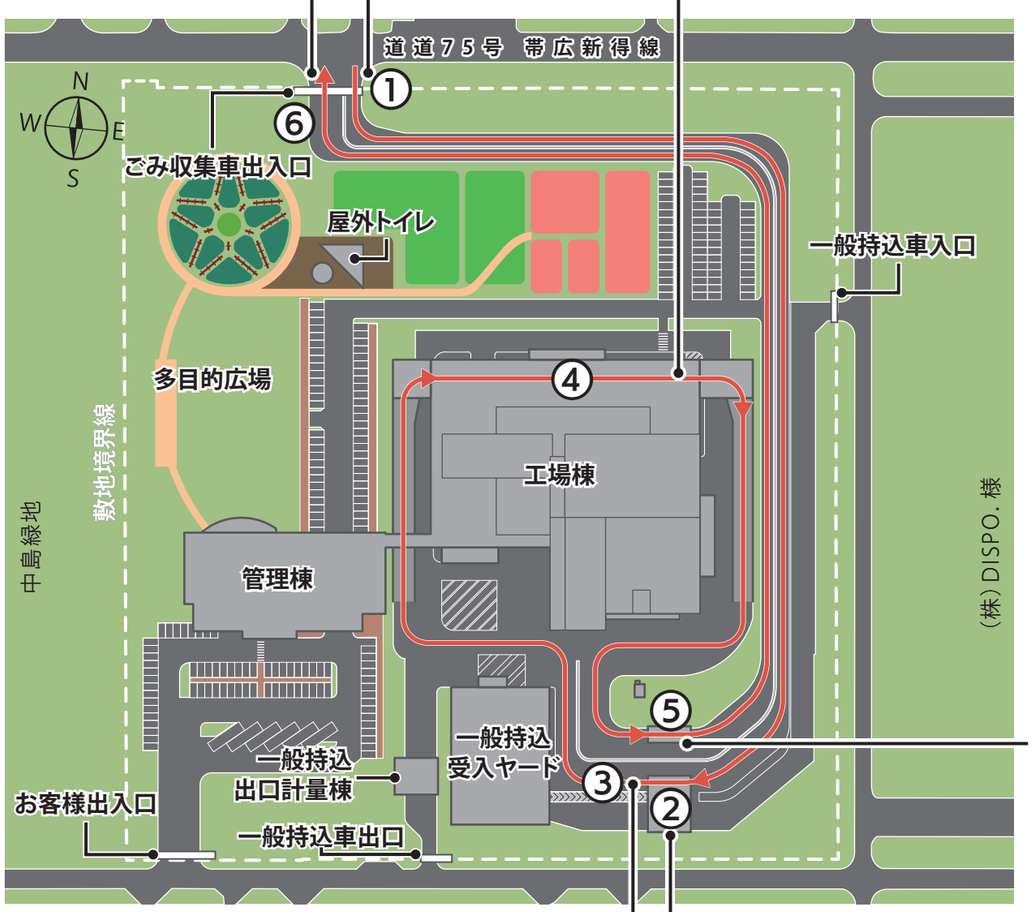
入口から入場し、計量棟で案内された番号の停車枠へ移動してください。

2）ごみ収集の動線

【⑥ごみ収集車出口】
北側の道道から退場してください。
混雑状況をみて左折にご協力ください。

【①ごみ収集車入口】
ごみ収集車は北側の道道から入場してください。
東側入口は一般持込専用となりますので、ごみ収集車は通行禁止です。

【④プラットホーム】
計量棟で案内された投入扉でごみを降ろしてください。
作業終了後、東側出口からランプウェイを経由し⑤へ移動してください。

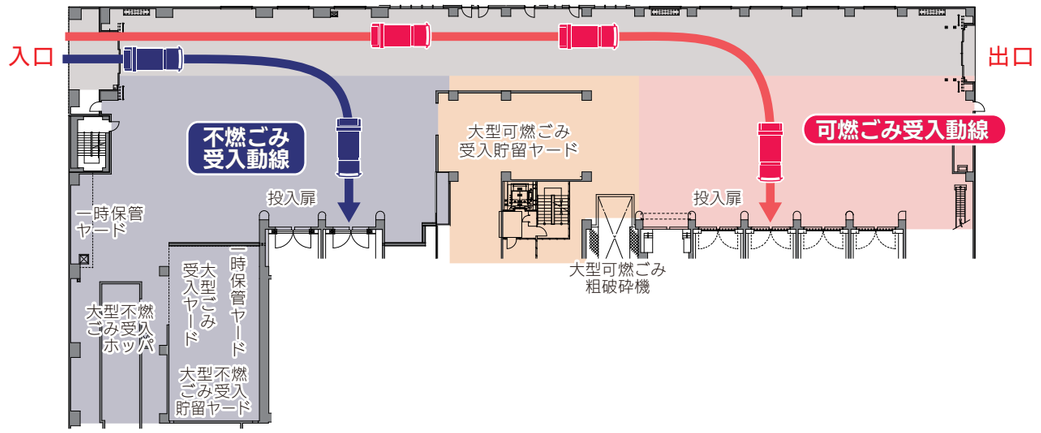


【⑤出口計量棟】
計量を行い退場手続きをしてください。

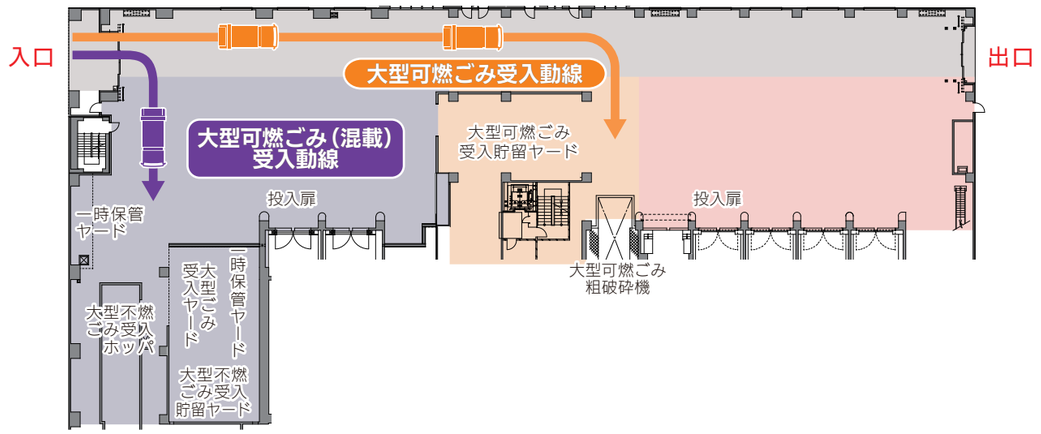
【③搬出入通路】
計量棟の案内にしたがってランプウェイを経由し④のプラットホームに入場してください。

【②入口計量棟】
ごみ収集車走行レーン左側に計量機1基を配置しています。
こちらで計量を行い入場手続きをしてください。

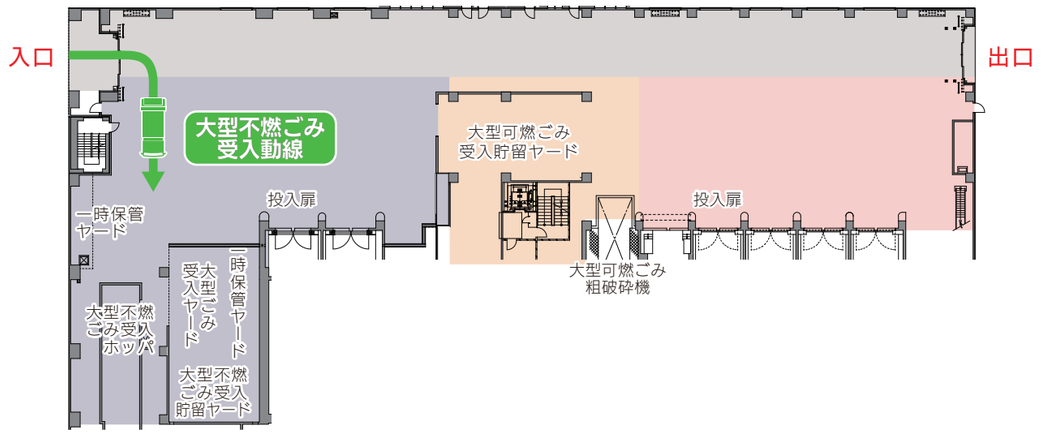
可燃ごみ受入供給動線・不燃ごみ受入供給動線



大型可燃ごみ受入供給動線



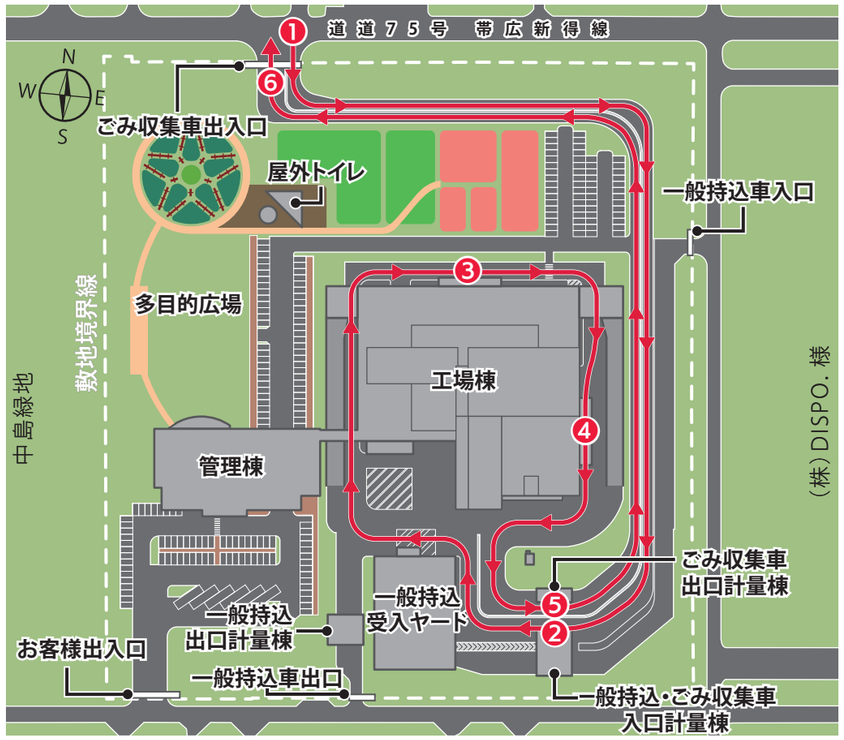
大型不燃ごみ受入供給動線



車両動線　概要③

※計量については今後の運営に向けての協議により変更となる場合がございます。

3）灰搬出車両の動線



①北側道道入口から入場し、専用レーンを走行します。

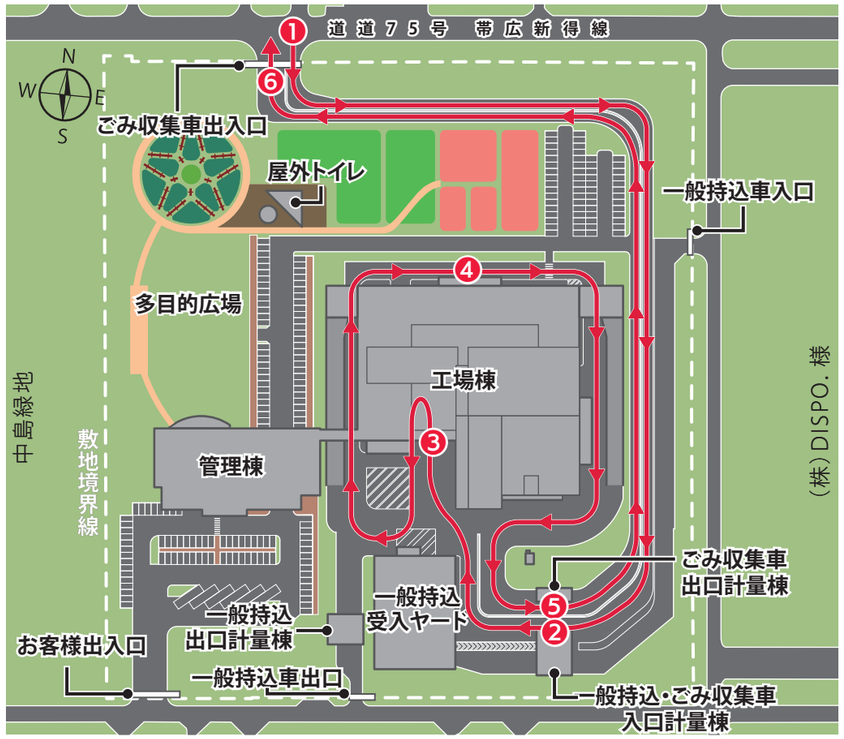
②入口計量棟を通過後、③メンテ車両レーンを走行し、灰搬出室に向かいます。

④灰搬出室にて灰の積み込み完了後、⑤出口計量棟を通過し、⑥北側道道出口から退場します。

【計量について】
入口では計量を行わず
出口にて計量を行います。
（1回計量）

※東側入口は一般持込専用の入口となりますので通行禁止です。

4）破砕鉄、アルミ搬出車両の動線



①北側道道入口から入場し、専用レーンを走行します。

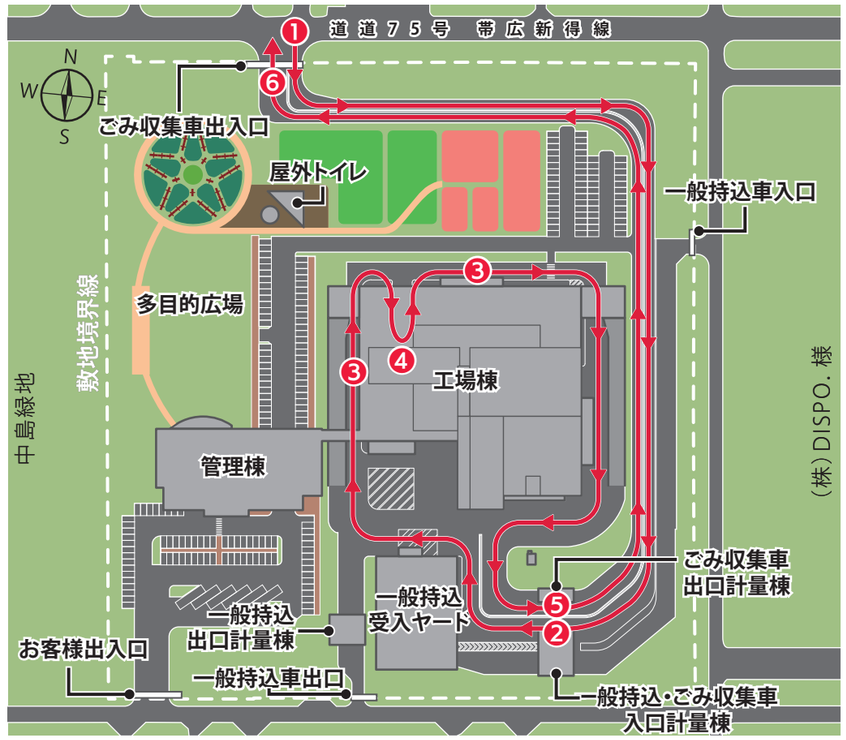
②入口計量棟を通過後、③破砕鉄、アルミストックヤードに向かいます。

積み込み完了後、④メンテ車両レーンを走行し、⑤出口計量棟を通過後、⑥北側道道出口から退場します。

【計量について】
入口では計量を行わず
出口にて計量を行います。
（1回計量）

※東側入口は一般持込専用の入口となりますので通行禁止です。

5）アルミ製品、乾電池、蛍光管、水銀製品等の搬出動線



①北側道道入口から入場し、専用レーンを走行します。

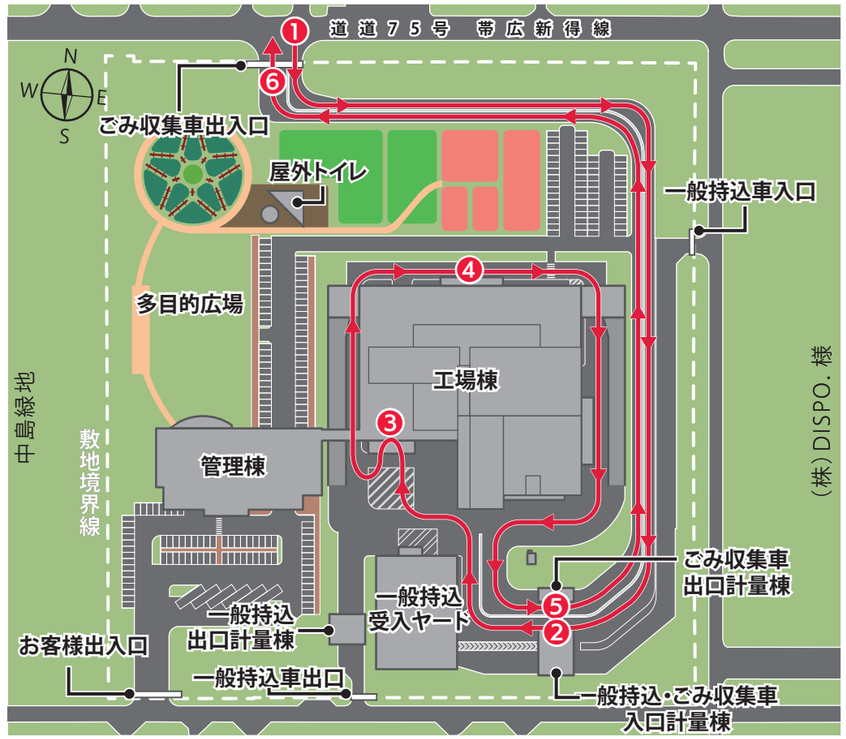
②入口計量棟を通過後、③メンテ車両レーンを走行し、④ストックヤードに向かいます。

積込み完了後、再度、メンテ車両レーンを走行し、⑤出口計量棟を通過後、⑥北側道道出口から退場します。

【計量について】
アルミ製品は出口にて計量を行います。（1回計量）
その他の品目は計量行わず、搬出となります。

※東側入口は一般持込専用の入口となりますので通行禁止です。

6）鉄屑の搬出動線



①北側道道入口から入場し、専用レーンを走行します。

②入口計量棟を通過後、③鉄屑ストックヤードに向かいます。

積み込み完了後、④メンテ車両レーンを走行し、⑤出口計量棟を通過後、⑥北側道道出口から退場します。

【計量について】
入口と出口にて計量を行います。
（2回計量）

※東側入口は一般持込専用の入口となりますので通行禁止です。

車両動線　概要④

7）施設見学者や多目的広場を利用するお客様の動線

【①お客様出入口】
施設見学者や多目的広場利用者などのお客様はこちらの出入り口をご利用ください。

【②お客様駐車場】
管理棟や多目的広場など利用先によって使いやすい場所に駐車してください。

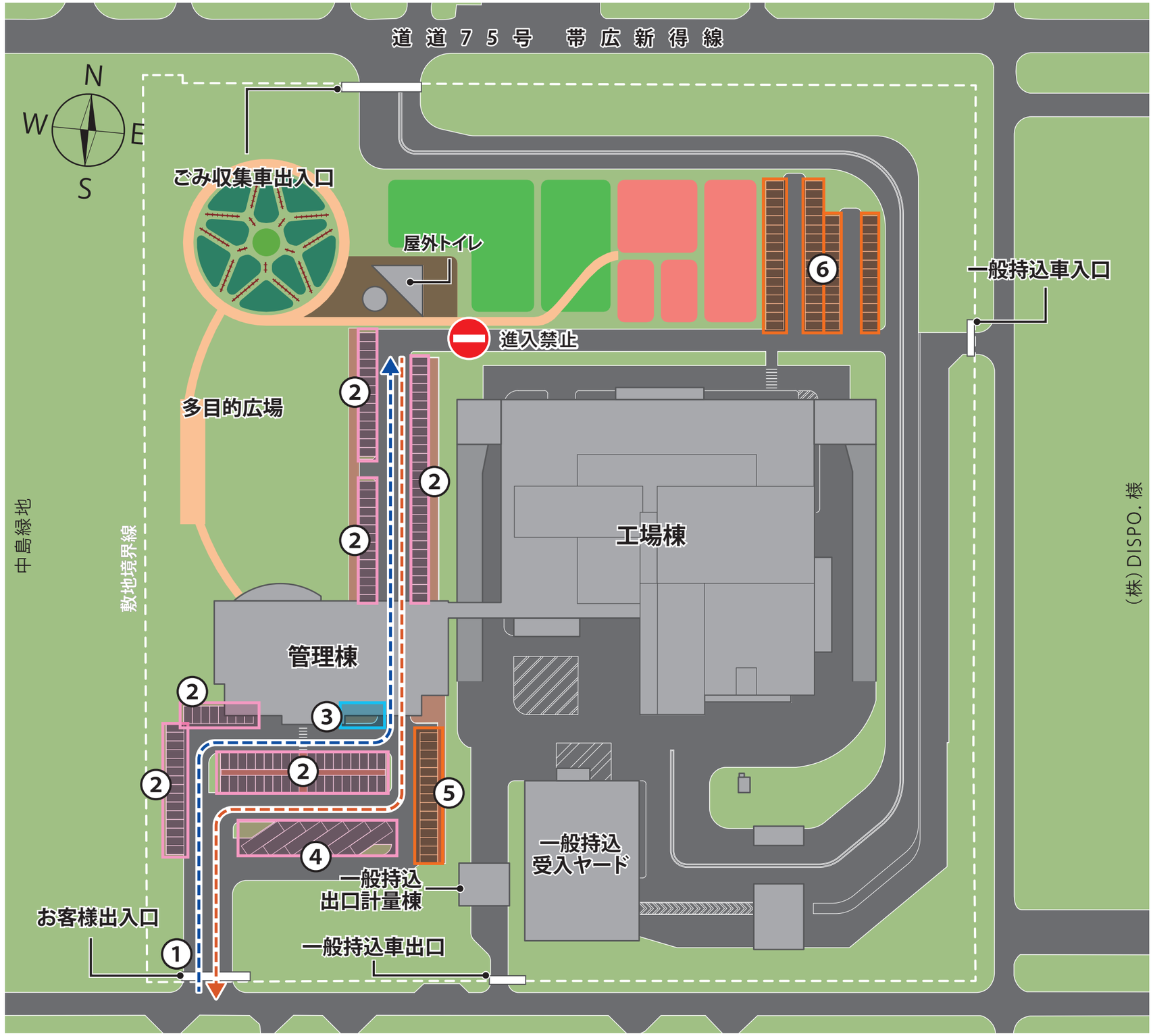
【③おもいやり駐車場】
障害のある方、高齢者、妊産婦、その他歩行が困難な方などにご利用していただく屋根付きの駐車場です。

【④大型バス駐車場】
団体の見学などにご利用ください。

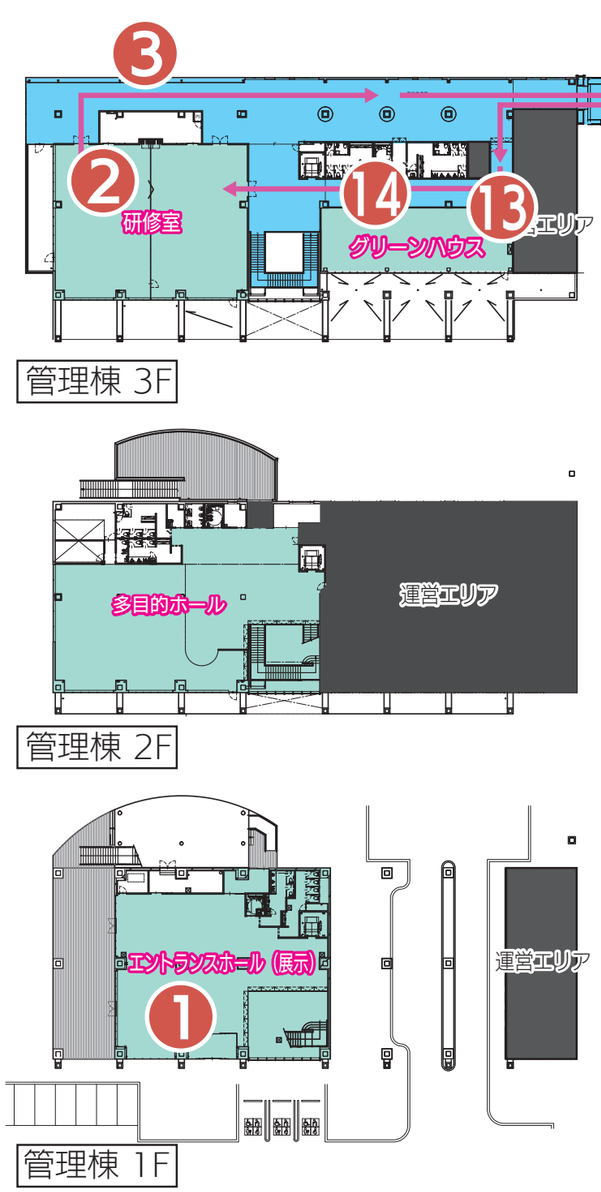
【⑤運営職員駐車場(1)】
運営職員および来客者専用です。

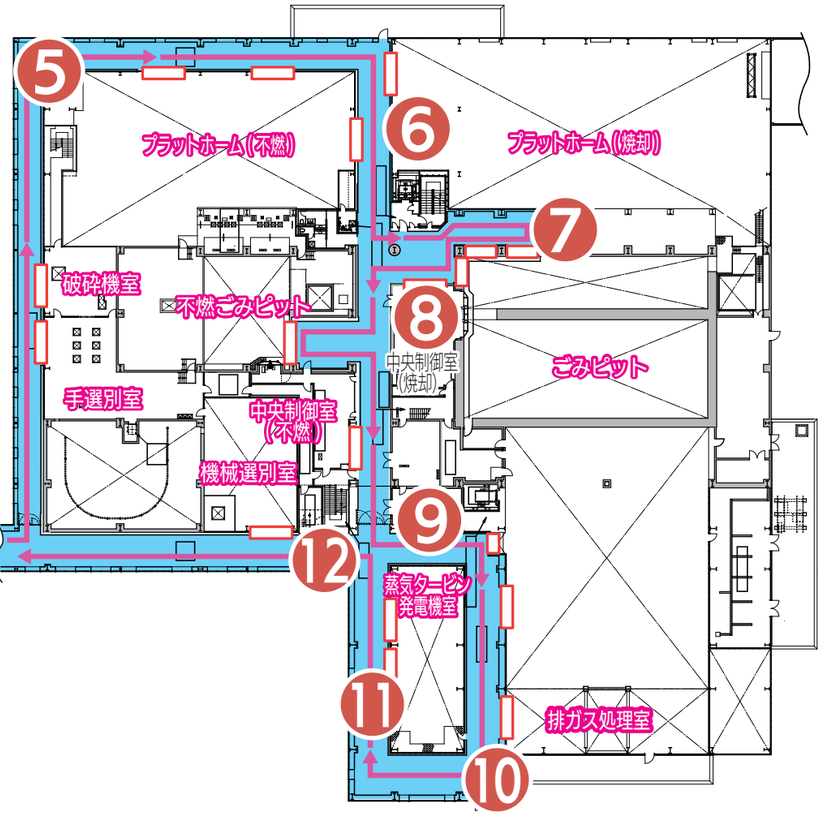
【⑥運営職員駐車場(2)】
運営職員専用です。
一般の方は利用できません。

※施設見学や多目的広場を利用するお客様は、「ごみ収集車出入り口」および「一般持込車入口」からの出入りは出来ません。



環境学習～体験・体感型 の概要





見学窓
見学ルート
学習エリア
見学通路